

令和4年度 品川区観光統計調査

報告書（概要版）

<目 次>

1. R4 観光統計調査結果とこれからの観光事業展開のポイント・・・ p1
2. 調査①：訪区客へのアンケート調査結果・・・・・・・・・・ p2
 - (1) 調査方法・・・・・・・・・・ p2
 - (2) 調査結果（主要項目抜粋）・・・・・・・・・・ p3
3. 調査②：GPS データを活用した観光動向調査・・・・・・・・ p4
 - (1) 調査方法・・・・・・・・・・ p4
 - (2) 調査結果（概要抜粋）・・・・・・・・・・ p4

品川区 文化スポーツ振興部 文化観光課

1. R4 観光統計調査結果とこれからの観光事業展開のポイント (全体概要)

品川区の観光行政のこれまで

◆品川区都市型観光プラン (H28.3)

<主要ターゲット>

- ①品川区民や区内在勤・在学者等
- ②ビジネス客
- ③外国人観光客 等

<重要な観光コンテンツ>

- ①水辺
- ②商店街
- ③歴史
- ④スポーツ
- ⑤文化芸術
- ⑥ショートトリップ

<その他の重要施策>

- ・情報発信強化
- ・連携の向上
- ・環境整備
- ・推進体制の充実

◆区内の主要観光事業 (H29 以降の主要事業)

- 水 辺**：水辺の観光フェスタ
感じる“しながわ水辺”プロジェクト
- 商店街**：商店街ウォーク (つまみ食い、謎解き)
- 歴史**：高知県との連携事業 (坂本龍馬)
- スポーツ**：ブラインドサッカー、ホッケー等への支援
- 文化芸術**：文化芸術活動への補助
- ショートトリップ**：各種まち歩き事業 (水辺、歴史等)
- 情報発信**：しながわ観光大使シナモロールの活用
SNS、動画サイト等での情報発信
- 推進体制**：観光振興協議会・専門部会の設置運営
観光アドバイザーの活用

観光統計調査結果 (品川区の都市型観光の現状・特徴)

調査①：訪区客へのアンケート調査 (⇒詳細は p2~3)

- ①区内観光行動は「買い物」「飲食」「商店街めぐり」がメイン (都市型観光の特徴が表れている)。
- ②訪れた／訪れたい／力を入れて欲しい観光資源は「水辺」「商店街」「歴史文化」関連が多い。
- ③交通手段は区外からは鉄道等、区内では徒歩がメイン。
- ④観光情報の入手方法はホームページ、SNS からが多い。
- ⑤来訪満足度は非常に高い。

※R3 アンケート調査と同様の結果

調査②：GPS データを活用した観光動向調査

<R3 年度の区内観光資源の状況> (⇒詳細は p4~6)

- ①区内観光資源の利用者はコロナ禍前の約 9 割まで回復。
- ②屋外の「公園」「水辺 (広場)」「歴史文化資源」、日常生活に身近な「商店街」はコロナ禍前より利用者増加。
- ③「周辺居住者」による区内観光資源の利用はコロナ禍前よりも増加。(自宅近くで余暇を楽しむマイクロツーリズムが浸透)
- ④「周辺勤務者」による区内観光資源の利用はコロナ禍前の約 7 割と回復が遅れている。
- ⑤「来街者」による区内観光資源の利用はコロナ禍前の約 9 割とコロナ禍前の水準にほぼ戻りつつある。
- ⑥目黒川沿川は観光シーズンの集客が課題 (中目黒の約半分)。
- ⑦戸越銀座商店街、武蔵小山商店街の集客力は都内随一。

※R2 年度の区内観光資源の利用者は全体平均でコロナ禍前の約 7 割強

これからの観光事業展開のポイント

- ①品川区ならではの人気観光コンテンツである「水辺」「商店街」をさらに磨き上げる。
- ②都内随一の充実度を誇る鉄道を活かし、駅からの「ショートトリップ」を充実させる。
- ③訪区客に人気の高い「食」を活用したコンテンツを拡充・展開する。
- ④コロナ禍での主要な顧客である「周辺居住者」「品川区民」を重視した施策を展開する (つかんだ顧客を逃がさないようにする)。
- ⑤コロナ禍で関心が高まった「公園」「歴史文化資源」の魅力向上を図る。

2. 調査①：訪区客へのアンケート調査結果

(1) 調査方法

■ 調査目的	品川区を実際に訪れた来街者から、訪れた目的、同行者、訪問地点、消費額、情報入手先、満足度、交通手段等を把握し、 訪区客の観光行動を把握 する。		
■ 調査時期	令和4年11月の週末 ※11/12(土)、11/13(日)、11/25(金)、11/26(土)		
■ 配布場所	区内5地区の 主要観光スポット 品川地区 : 品川浦、旧東海道品川宿(品川宿交流館)、天王洲(アイルしながわ、第三水辺広場) 大井・八潮地区 : しながわ水族館、大井競馬場(メガイルミ出入口) 大井町駅周辺地区 : 阪急大井町ガーデン周辺道路 荏原地区 : 戸越銀座商店街、武蔵小山商店街 大崎地区 : 大崎駅南口駅前、ニューオータニイン東京		
■ 調査項目	問1 : 基本属性(性別、年齢等) 問4 : 宿泊の有無・宿泊数 問7 : 区内で行った観光行動 問9 : 品川区までの主な交通手段 問11 : 情報入手方法 問13 : 今後やってみみたい観光	問2 : 来訪目的 問5 : 同行者 問8 : 観光消費額 問10 : 区内での移動手段 問12 : 来訪満足度 問14 : 品川区の今後取り組むべき施策	問3 : 来訪頻度 問6 : 訪問場所
■ 配布・回収数	2,500票配布・ 306票回収 (回収率12%)		

アンケート票配布場所 位置図



(2) 調査結果 (主要項目抜粋)

※調査結果の全体的傾向は R3 調査結果と同じ

① 当日の区内での観光行動

⇒商店街等での「買い物」「グルメ・飲食」「商店街めぐり」がトップ3。「水辺の散歩」も多い。

商店街
水辺

N=306、複数回答

当日の観光行動		回答数	割合
1位	買い物	159	52%
2位	グルメ・飲食	124	41%
3位	商店街めぐり	67	22%
4位	イベントへの参加	50	16%
5位	水辺の散歩	45	15%

② 観光目的で訪問経験のある区内の資源

⇒「商店街」「水辺」関連の観光資源は訪問率が高い多い。

商店街 水辺 N=306、複数回答

訪問経験のある資源				訪問経験のある資源			
順位	資源	回答数	割合	順位	資源	回答数	割合
1位	大井町駅周辺の商店街等	146	48%	6位	五反田TOC	96	31%
2位	戸越銀座商店街	139	45%	7位	大崎駅周辺の商店街等	93	30%
3位	武蔵小山商店街	108	35%	8位	しながわ水族館	83	27%
4位	目黒川 (五反田・大崎)	107	35%	8位	五反田駅周辺の商店街等	82	27%
5位	目黒川 (品川宿付近)	100	33%	10位	旧東海道品川宿 (商店街)	81	26%

③ 今後区内で実施したい観光

⇒「商店街」「水辺」「歴史文化」関連の観光は人気が高い (需要・ニーズがある)。

商店街	水辺	歴史文化
-----	----	------

N=306、複数回答

今後実施したい観光		回答数	割合
1位	グルメ・飲食	127	42%
2位	水辺の散策	122	40%
3位	屋形船・クルーズ	118	39%
4位	商店街めぐり	98	32%
5位	寺社・史跡等の見学	93	30%
6位	博物館・劇場等への訪問	90	29%

④ 交通手段

⇒区外からは「鉄道」がメイン (4 割弱)。
⇒区内では「徒歩」がメイン (約 4 割)。

品川区までの交通手段			品川区内の交通手段		
順位	交通手段	回答数 割合	順位	交通手段	回答数 割合
1位	鉄道等 (※)	110 36%	1位	徒歩	125 41%
2位	徒歩	95 31%	2位	鉄道等 (※)	73 24%
3位	自転車	22 7%	3位	自転車	22 7%
4位	自家用車・レンタカー	14 5%	4位	路線バス	16 5%
5位	路線バス	10 3%	5位	自家用車・レンタカー	10 3%

N=306、単一回答

※JR、東急、京急、都営地下鉄、りんかい線、モノレール、東京メトロ

⑤ 品川区の観光情報の入手方法

⇒「ホームページ」「SNS」が多い (インターネット経由が主流)。

N=115 (情報入手した人)、複数回答

観光情報入手方法		回答数	割合
1位	ホームページ	59	51%
2位	SNS	27	23%
3位	パンフレット・チラシ	26	23%
4位	家族・友人の話 (口コミ)	23	20%

⑥ 当日の観光消費額

⇒中央値は¥3,000/人、平均値は¥4,940/人。
(参考: H29 北区調査は中央値¥2,100、平均値¥4,139)

用途	中央値	平均値	用途	中央値	平均値
交通費	¥0	¥446	飲食費	¥1,000	¥1,787
宿泊費	¥0	¥435	入場料	¥0	¥191
買物・土産代	¥500	¥2,026	その他	¥0	¥55
			合計金額	¥3,000	¥4,940

⑦ 品川区への来訪満足度

⇒来訪満足度は非常に高い (満足が約 8 割)。

来訪満足度	回答数	割合	来訪満足度	回答数	割合
大変満足した	98	32%	やや不満だった	4	1%
満足した	113	37%	不満だった	2	1%
まあ満足した	37	12%	大変不満だった	2	1%
普通	39	13%			

N=306、単一回答

⑧ 今後取り組むべき施策

⇒「商店街」「水辺」「歴史文化」「情報発信」に関するものが多い。

取り組むべき観光事業			取り組むべき観光事業		
順位	事業	回答数 割合	順位	事業	回答数 割合
1位	グルメ・飲食を楽しめるイベント	144 47%	6位	商店街を巡るまち歩き	112 37%
2位	芸術・文化に触れられるイベント	133 43%	7位	観光情報WEBサイトの充実	111 36%
3位	船に乗れるイベント	127 42%	8位	水辺で開催するイベント	102 33%
4位	歴史・文化資源を巡るまち歩き	120 39%	9位	花や水辺等の風景を楽しむまち歩き	93 30%
5位	夜景やライトアップを巡るまち歩き	117 38%	10位	街なかの観光案内サインの充実	88 29%

商店街 水辺 歴史文化 情報発信

3. 調査②：GPS データを活用した観光動向調査

(1) 調査方法

■ 調査目的 ・ 内容	ビッグデータ（GPSデータ）を活用して、区内観光資源の一時滞在者（居住や勤務等の長時間滞在者、単なる通過者を除いた一時的な滞在者＝観光的行動を行っている人）の数・属性（推計値）を把握し、主に R3 年度の区内観光資源の利用者の特徴とコロナ禍前（R1 年度）からの回復度を明らかにする。
■ 調査時期	令和元年 4 月～令和 4 年 7 月（R1 年 4 月～R3 年 7 月のデータは R3 年度に取得）
■ 調査箇所	区内の主要観光資源 39 箇所（下表参照）＋主要観光 6 イベント

◆ 調査箇所（区内 39 箇所）

種類	NO.	調査箇所	種類	NO.	調査箇所	
駅周辺繁華街	1	大井町駅周辺	公園	21	しながわ区民公園	
	2	目黒駅周辺		22	東品川海上公園	
	3	五反田駅周辺		23	戸越公園	
	4	大崎駅周辺		24	林試の森公園	
	5	天王洲アイル駅周辺		25	大井ふ頭中央海浜公園 なぎさの森	
再開発地区	6	天王洲アイル	歴史文化資源	街道・参道	26	旧東海道品川宿（八ツ山入口～品川橋）
	7	品川シーサイド			27	旧東海道品川宿（品川橋～都道420号）
	8	御殿山トラストシティ		28	上神明天祖神社＋戸越公園駅までの商店街	
水辺	河川・運河沿い	9		目黒川沿川（太鼓橋～五反田大橋（桜田通））	歴史文化施設	29
		10	目黒川沿川（五反田大橋～御成橋）	30		大森貝塚遺跡庭園
		11	目黒川沿川（御成橋～居木橋（山手通））	31	北浜川児童遊園（坂本龍馬像）	
		12	目黒川沿川（居木橋～東海橋（第二京浜））	32	品川神社	
		13	目黒川沿川（東海橋～昭和橋（河口））	スポーツ施設	33	大井ふ頭中央海浜公園 スポーツの森
		14	品川浦周辺（天王洲橋～品川浦公園）		34	天王洲公園（野球場）
	水辺の広場・公園	15	勝島運河周辺（立会川河口～鮫洲橋）	商店街	35	戸越銀座商店街
		16	五反田ふれあい水辺広場		36	武蔵小山商店街パルム
	船着場周辺	17	天王洲アイル水辺広場（第一～第三）	その他観光資源	37	しながわ水族館
		18	京浜運河緑道公園（八潮橋～勝島橋）		38	大井競馬場
		19	五反田リパーステーション周辺		39	立会道路桜並木（西小山駅～中原街道）
		20	東品川二丁目船着場周辺			

(2) 調査結果（概要抜粋）

① 調査箇所種別の一時滞在者数の回復度（全体的傾向）

⇒全体で見ると、R3 年度の区内観光資源の一時滞在者数はコロナ禍前（R1）の約 9 割まで回復。

⇒屋外の「水辺（広場）」「公園」「歴史文化資源（街道、神社等）」、生活に身近な「商店街」の R3 年度の一時滞在者数は、コロナ禍前（R1）よりも増加。

⇒コロナ禍では、屋外、生活に身近な観光資源の人気が高い。

調査箇所【種別毎】	一時滞在者数の変化		R1（コロナ禍前）に対する R3 年度の割合
	R1→R2 年度	R2→R3 年度	
駅周辺繁華街【5箇所平均】	73%	125%	91%
再開発地区【3箇所平均】	72%	121%	86%
水辺（河川・運河沿い）【7箇所平均】	75%	118%	88%
水辺（広場）【3箇所平均】	88%	121%	107%
船着場周辺【2箇所平均】	65%	128%	83%
公園【5箇所平均】	104%	120%	124%
歴史文化資源【7箇所平均】	84%	122%	103%
スポーツ施設【2箇所平均】	66%	144%	96%
商店街【2箇所平均】	91%	123%	111%
その他【3箇所平均】	70%	136%	95%
全体【39箇所平均】	75%	124%	92%

↗ 25%以上増加
 ↗ 5%以上増加
 → 増減5%以内
 ↘ 5%以上減少
 ↘ 25%以上減少

② 調査箇所種別の一時滞在者数の回復度（滞在者属性別の傾向）

⇒R3 年度は「周辺居住者」による区内観光資源の利用が、コロナ禍前（R1）よりも増加。

⇒特に「水辺（広場）」「公園」の「周辺居住者」による一時滞在はコロナ禍前の 1.4 倍以上と大幅に増加しており、コロナ禍で、自宅近くの「公園」「水辺（広場）」で余暇を楽しむマイクロツーリズムが浸透

調査箇所【種別毎】	一時滞在者数の変化（R1→R3年度）		
	周辺居住者	周辺勤務者	来街者
駅周辺繁華街【5箇所平均】	110%	70%	90%
再開発地区【3箇所平均】	124%	59%	88%
水辺（河川・運河沿い）【7箇所平均】	104%	69%	95%
水辺（広場）【3箇所平均】	141%	64%	92%
船着場周辺【2箇所平均】	91%	70%	85%
公園【5箇所平均】	148%	95%	106%
歴史文化資源【7箇所平均】	113%	82%	97%
スポーツ施設【2箇所平均】	106%	84%	94%
商店街【2箇所平均】	115%	90%	113%
その他【3箇所平均】	117%	88%	82%
全体【39箇所平均】	112%	70%	92%

25%以上増加
5%以上増加
増減5%以内
5%以上減少
25%以上減少

※周辺居住者：調査箇所から1km範囲内に居住している人
※周辺勤務者：調査箇所から1km範囲内に勤務している人
※来街者：周辺居住者、周辺勤務者以外

③ 駅周辺繁華街の一時滞在者数

⇒「五反田駅周辺」「大井町駅周辺」が区内で最も一時滞在者の多い駅前繁華街（R3：約6万人/日）。中目黒駅周辺の約1.3倍、品川駅周辺の6割弱の規模。

⇒R3 年度の「大井町駅周辺」「目黒駅周辺」はコロナ禍前（R1）の水準までほぼ回復。

⇒R3 年度の「五反田駅周辺」「大崎駅周辺」「天王洲アイル駅周辺」は回復途上。

調査箇所【駅周辺繁華街】	一時滞在者数（人/日）※推計値							
	R1年度		R2年度	前年比		R3年度	前年比	R1比
五反田駅周辺	64,703	↘	47,472	73%	↗	59,259	125%	92%
大井町駅周辺	62,047	↘	47,916	77%	↗	60,754	127%	98%
大崎駅周辺	47,981	↘	31,332	65%	↗	38,572	123%	80%
目黒駅周辺	42,803	↘	33,013	77%	↗	41,149	125%	96%
天王洲アイル駅周辺	16,200	↘	10,350	64%	↗	12,889	125%	80%
(参考)中目黒駅周辺	46,961	↘	35,624	76%	↗	45,264	127%	96%
(参考)品川駅周辺	150,293	↘	79,827	53%	↗	108,717	136%	72%

↗ 25%以上増加
↗ 5%以上増加
→ 増減5%以内
↘ 5%以上減少
↘ 25%以上減少

④ 目黒川沿川の一時滞在者数

⇒通年で比較すると五反田は中目黒と同程度（潜在的ポテンシャルは同程度）であるが、4月祝休日で比較すると約6割（観光シーズンの集客が課題）。

調査箇所【目黒川沿川】	一時滞在者数（人/日）※推計値								
	R1年度		R2年度	前年比		R3年度	前年比	R1比	R4年4月の祝休日
目黒川（五反田）	13,916	↘	9,739	70%	↗	11,790	121%	85%	8,265
目黒川（大崎）	10,443	↘	7,382	71%	↗	8,198	111%	79%	3,298
目黒川（品川宿）	3,352	↘	2,410	72%	↗	2,928	121%	87%	2,229
(参考)目黒川（中目黒）	13,269	↘	9,672	73%	↗	12,585	130%	95%	13,313

⑤水辺（広場）・公園の一時滞在者数

⇒「天王洲アイル水辺広場」「大井ふ頭中央海浜公園なぎさの森」を除くすべての調査箇所で、R3年度の一時滞在者数はコロナ禍前（R1）より増加または現状維持。コロナ禍で**多くの「水辺（広場）」「公園」で利用者が増加**。

調査箇所 【水辺（広場）・公園】	一時滞在者数（人/日）※推計値							
	R1年度		R2年度	前年比		R3年度	前年比	R1比
五反田ふれあい水辺広場	552	↗	607	110%	↗	857	141%	155%
天王洲アイル水辺広場（第一～第三）	823	↘	479	58%	↗	532	111%	65%
京浜運河緑道公園	945	→	958	101%	↗	1,084	113%	115%
しながわ区民公園	2,857	→	2,728	95%	↗	3,434	126%	120%
東品川海上公園	846	→	868	103%	→	845	97%	100%
戸越公園	349	→	348	100%	↗	470	135%	135%
林試の森公園	1,295	↗	1,974	152%	↗	2,309	117%	178%
大井ふ頭中央海浜公園なぎさの森	873	↘	532	61%	↗	683	128%	78%
(参考)大森ふるさとの浜辺公園	872	↘	770	88%	↗	852	111%	98%

↗ 25%以上増加
 ↗ 5%以上増加
 → 増減5%以内
 ↘ 5%以上減少
 ↘ 25%以上減少

⑥商店街の一時滞在者数

⇒「戸越銀座商店街」「武蔵小山商店街」のR3年度の一時滞在者数はコロナ禍前（R1）よりも増加しており、**都内他区の有名商店街（北区の十条銀座、江東区の砂町銀座）よりも多い**。

調査箇所 【商店街】	一時滞在者数（人/日）※推計値							
	R1年度		R2年度	前年比		R3年度	前年比	R1比
戸越銀座商店街	10,352	↘	8,647	84%	↗	11,071	128%	107%
武蔵小山商店街	14,496	→	13,888	96%	↗	16,609	120%	115%
(参考)十条銀座商店街	8,941	↘	7,305	82%	↗	8,557	117%	96%
(参考)砂町銀座商店街	5,005	↘	4,650	93%	↗	5,757	124%	115%